



## **WFA** ワークフローパックを作成します OnCommand Workflow Automation

NetApp  
October 09, 2025

# 目次

WFA ワークフローパックを作成します .....	1
WFA ワークフローパックにエンティティを追加します .....	1
OnCommand Workflow Automation パックを削除します .....	2
OnCommand Workflow Automation コンテンツをエクスポートします .....	2
OnCommand Workflow Automation コンテンツをインポートします .....	4
WFA ワークフローパックをインポート .....	4
OnCommand Workflow Automation コンテンツをインポートする際の考慮事項 .....	5
アップグレード中のパック ID .....	6

# WFA ワークフローパックを作成します

ストレージの自動化と統合の要件に対応するワークフローパックを OnCommand Workflow Automation（WFA）で作成できます。

## 手順

1. Web ブラウザを使用して WFA ウィンドウにログインします。
2. [\* コンテンツ管理 \*（Content Management \*）]>[\* パック（\* Packs）]
3. [新しいパック \*（New Pack \*）] アイコンをクリックします。
4. [新しいパック \*（\* New Pack \*）] ダイアログボックスで、[\* 名前 \*（\* Name \*）]、[\* 作成者 \*（\* Author \*）]、[\* バージョン \*（\* Version \*）]、および[\* 概要 \*（\*\*）] フィールド
5. [保存（Save）] をクリックします。
6. 新しいパックが [\*Packs] ウィンドウに作成されていることを確認します。

# WFA ワークフローパックにエンティティを追加します

ストレージの自動化と統合の要件に応じて、OnCommand Workflow Automation（WFA）のワークフローパックに 1 つ以上のエンティティを追加できます。

## このタスクについて

次のエンティティからパックを削除できます。

- ワークフロー
- ファインダ
- フィルタ
- コマンド
- 機能
- テンプレート
- スキーム
- 辞書
- データソースの種類
- リモートシステムタイプ
- キャッシュクエリ
- カテゴリ

## 手順

1. Web ブラウザから \* WFA \* ウィンドウにログインします。
2. \* ワークフローデザインポータルで、追加するエンティティに移動し、\* <エンティティ> \* をクリックします。

3. エンティティ \* ウィンドウで 'パック' に追加するエンティティを選択します
4. 「 \* パックに追加 \* 」アイコンをクリックします。

「Add to Pack」は、証明書が \*None.\* に設定されているエンティティに対してのみ有効になります

5. パックに追加 < エンティティ > \* ( \* Add to Pack < Entity > \* ) ダイアログボックスの \* 使用可能なパック \* ( \* Available Packs \* ) ドロップダウンリストから、エンティティを追加するパックを選択します。
6. [OK] をクリックします。

## OnCommand Workflow Automation パックを削除します

不要になったパックは OnCommand Workflow Automation ( WFA ) から削除できます。パックを削除すると、パックに関連付けられているすべてのエンティティが削除されます。

このタスクについて


- パックの一部であるエンティティに依存関係がある場合は、パックを削除できません。

たとえば、カスタムワークフローの一部であるコマンドを含むパックを削除しようとする、カスタムワークフローはパックに依存するため、削除処理が失敗します。パックを削除できるのは、カスタムワークフローを削除した後だけです。

- パックの一部であるエンティティを個別に削除することはできません。

パックの一部であるエンティティを削除するには、そのエンティティを含むパックを削除する必要があります。エンティティが複数のパックに含まれている場合、WFA サーバからそのエンティティを含むすべてのパックが削除されるまでエンティティは削除されません。

手順

1. Web ブラウザから admin として WFA にログインします。
2. [ \* コンテンツ管理 \* ( Content Management \* ) ] > [ \* パック ( \* Packs ) ]
3. 削除するパックを選択し、をクリックします .
4. [ \* パックの削除 \* ( \* Delete Pack \* ) ] 確認ダイアログボックスで、[OK] をクリックします。

## OnCommand Workflow Automation コンテンツをエクスポートします

ユーザが作成した OnCommand Workflow Automation ( WFA ) のコンテンツを「.dar」ファイルとして保存し、他のユーザと内容を共有できます。WFA のコンテンツには、ユーザが作成したコンテンツ全体、またはワークフロー、ファインダ、コマンド、ディクショナリなどの特定の項目を含めることができます。




必要なもの

- エクスポートする WFA コンテンツへのアクセス権が必要です。

- エクスポートするコンテンツに認定コンテンツへの参照が含まれている場合、コンテンツのインポート時に、対応する認定コンテンツパックをシステムで使用できるようにする必要があります。

これらのパックは Storage Automation Store からダウンロードできます。

#### このタスクについて

- 次の種類の認定コンテンツはエクスポートできません。
  -  - ネットアップ認定コンテンツ
  -  - Professional Services （ PS ；プロフェッショナルサービス）が開発したコンテンツ。PS によるカスタムインストールでのみ利用可能です
  -  - ユーザが開発したパック
- エクスポートされたオブジェクトに依存するすべてのオブジェクトもエクスポートされます。

たとえば、ワークフローをエクスポートすると、ワークフローの依存コマンド、フィルタ、ファインダもエクスポートされます。

- ロックされたオブジェクトをエクスポートできます。

オブジェクトは、他のユーザーによってインポートされるとロック状態のままになります。

#### 手順

1. Web ブラウザを使用して WFA にログインします。
2. 必要なコンテンツをエクスポートします。

状況	手順
ユーザーが作成したすべてのコンテンツを 1 つの .dar ファイルとしてエクスポートします	a. [* 設定 *] をクリックし、[* メンテナンス] の下にある [すべてのワークフローをエクスポート *] をクリックします。 b. 「.dar」ファイルのファイル名を指定し、「* Export *」をクリックします。
特定のコンテンツをエクスポートします	a. コンテンツをエクスポートするウィンドウに移動します。 b. ウィンドウで 1 つ以上の項目を選択し、をクリックします  。 c. [名前を付けてエクスポート] ダイアログボックスで .dar ファイルのファイル名を指定し '[Export]' をクリックします

3. [名前を付けて保存 \*] ダイアログボックスで .dar ファイルを保存する場所を指定し '[保存 \*]' をクリックします

# OnCommand Workflow Automation コンテンツをインポートします

ワークフロー、ファインダ、コマンドなど、ユーザが作成した OnCommand Workflow Automation (WFA) のコンテンツをインポートできます。また、別の WFA インストールからエクスポートしたコンテンツ、Storage Automation Store または WFA コミュニティからダウンロードしたコンテンツ、および Data ONTAP PowerShell ツールキットや Perl NMSDK ツールキットなどのパックをインポートすることもできます。

## 必要なもの

- インポートする WFA コンテンツへのアクセス権が必要です。
- インポートするコンテンツが、同じバージョンかそれ以前のバージョンの WFA を実行しているシステムに作成されている必要があります。

たとえば、WFA 2.2 を実行している場合、WFA 3.0 を使用して作成されたコンテンツをインポートすることはできません。

- N-2 バージョンの WFA で開発されたコンテンツは、WFA 5.1 にのみインポートできます。
- 「.dar」ファイルが NetApp 認定コンテンツを参照している場合は、NetApp 認定コンテンツ・パックをインポートする必要があります。

ネットアップ認定コンテンツパックは、Storage Automation Store からダウンロードできます。パックのドキュメントを参照して、すべての要件が満たされていることを確認する必要があります。

## 手順

1. Web ブラウザを使用して WFA にログインします。
2. [\* 設定 \*] をクリックし、[\* メンテナンス \*] の [\* ワークフローのインポート \*] をクリックします。
3. [ファイルの選択 \*] をクリックして 'インポートする .dar ファイルを選択し' [\* インポート \*] をクリックします
4. [インポート成功 \* (Import Success \*)] ダイアログボックスで、[OK] をクリックします。

## WFA ワークフローパックをインポート

ストレージの自動化と統合の要件に応じて、サーバから OnCommand Workflow Automation (WFA) にワークフローパックをインポートできます。

## 必要なもの

インポートするサーバ内の WFA コンテンツにアクセスできる必要があります。

## 手順

1. Web ブラウザから \* WFA \* ウィンドウにログインします。
2. [\* コンテンツ管理 \* (Content Management \*)] > [\* パック (\* Packs) ]
3. [サーバからインポート (Import from Server)] アイコンをクリックします。

4. [サーバーフォルダからインポート \*] ダイアログボックスの [サーバーシステムのフォルダの場所 \*] フィールドに、サーバー内のパックの場所を文字列形式で入力します。たとえば、「C:\work\packs\test.」と入力します
5. [OK] をクリックします。
6. パックが \* パック \* ウィンドウにインポートされていることを確認します。

## OnCommand Workflow Automation コンテンツをインポートする際の考慮事項

ユーザが作成したコンテンツ、別の OnCommand Workflow Automation (WFA) インストールからエクスポートされたコンテンツ、または Storage Automation Store または WFA コミュニティからダウンロードしたコンテンツをインポートする場合は、一定の考慮事項に注意する必要があります。

- WFA のコンテンツは「.dar」ファイルとして保存されます。また、ユーザが作成したコンテンツ全体を別のシステムや、ワークフロー、ファインダ、コマンド、ディクショナリなどの特定の項目に含めることができます。
- 既存のカテゴリが '.dar' ファイルからインポートされると、インポートされたコンテンツがカテゴリ内の既存のコンテンツとマージされます

たとえば、WFA サーバのカテゴリ A には 2 つのワークフロー WF1 および WF2 があるとしします。カテゴリ A のワークフロー WF3 および Wf4 を WFA サーバにインポートすると、カテゴリ A にはインポート後にワークフロー WF1、WF2、WF3、および Wf4 が含まれます。

- 「.dar」ファイルにディクショナリエントリが含まれている場合、ディクショナリエントリに対応するキャッシュテーブルが自動的に更新されます。

キャッシュテーブルが自動的に更新されない場合は、「wfa\_log」ファイルにエラーメッセージが記録されます。

- WFA サーバに存在しないパックに依存する「.dar」ファイルをインポートすると、WFA は、エンティティに関連するすべての依存関係が満たされているかどうかを確認しようとします。
  - 1 つ以上のエンティティが見つからない場合や、エンティティの下位バージョンが見つかった場合、インポートは失敗し、エラーメッセージが表示されます。

エラーメッセージには、依存関係を満たすためにインストールする必要があるパックの詳細が表示されます。

- 上位バージョンのエンティティが見つかった場合や、証明書が変更された場合は、バージョン不一致に関する一般的なダイアログボックスが表示され、インポートが完了します。

バージョン不一致の詳細は 'wfa\_log' ファイルに記録されます

- 次の項目についての質問やサポートリクエストは、WFA コミュニティに送信される必要があります。
  - WFA コミュニティからダウンロードされたすべてのコンテンツ
  - 作成したカスタムの WFA コンテンツ
  - 変更した WFA のコンテンツ

# アップグレード中のパック ID

アップグレードプロセスの実行中、OnCommand Workflow Automation（WFA）はエンティティを識別してパックに分類します。アップグレード前にパックのエンティティを削除した場合、アップグレード中にパックは識別されません。

WFA はアップグレードプロセス中に、データベースのパックと Storage Automation Store でリリースされたパックのリストを比較し、アップグレード前にインストールされたパックを特定します。したがって、パック ID はデータベース内の既存のパックを分類します。

WFA は次のプロセスを実行して、パックを特定し、分類します。

- Storage Automation Store でリリースされたパックのリストを管理し、アップグレード前にインストールされたパックを比較して確認します。
- Storage Automation Store が有効になっている場合に、パック内のエンティティを Storage Automation Store の同期の一部として分類します。
- 更新されたリストを使用してエンティティをパックに分類します。

パック ID は、Storage Automation Store からダウンロードしたネットアップ認定パックにのみ適用されます。

アップグレード中にパックが特定されなかった場合は、パックを再インポートして WFA で特定できるようにすることができます。wfa.log ファイルには、アップグレード時にパックとして識別されなかったエンティティに関する詳細が含まれています。



## 著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。